

平成26年度第2回学校関係者評価委員会報告

平成27年2月5日(木)

16:00～

於 東金中学校校長室

出席者 大木 宏之委員長, 鍋木 利明副委員長, 遠山喜代志委員, 保科 勇委員,
佐瀬 武委員, 伊東 邦子委員, 福島 邦英委員, 山岸 礼子委員,
森 雅夫委員

次第

- 1 委員長あいさつ
- 2 校長あいさつ
- 3 自己評価解説
- 4 学校関係者評価

<評価内容(座談会方式)>

(◎評価委員から出された主な発言と△学校側の発言)

◎生徒の自由記述に文化系の部活動を増やしてほしいとあるが, 現在文化系の部活動が2つしかないのは指導者の数によるものか。

△生徒数や職員の構成から現在の数が適正であると考えますが, 今後生徒のニーズも考えに入れながら再考することが必要となることも考えられる。

◎設問1の「学校は, 生徒にとって楽しい場になっていると思いますか」について「そう思う」と答えた職員が12%と昨年に比べて減少しているのはなぜか。

△職員の構成も毎年変わっている。詳しく追跡調査をしているわけではないが, 担任と担任以外では回答も異なってくると思われる。今後引き続き調査をしていきたい。

◎設問2の「学校施設は, 教育活動に適したものになっていると思いますか」について「そう思う」と答えた職員が0%である。どういうところが適していないと考えているのか。

△校舎自体が老朽化しており, 教材や教具も古くなっている現状である。来年度に新校舎となれば改善されると考える。

◎設問3の「学校は, 積極的に情報発信を行っていると思いますか」について, 学校便りを地域に回覧することを考えているか。小学校では地区ごとに回覧しており, 地域の中では小学校の話題は出るが中学校の話題はあまりのぼらない。

△インターネットでの発信を行っており, 回覧での発信は行っていない。

◎生徒や保護者のインターネットの普及率はどれくらいなのか。

△正確に把握はしていないが, スマートフォンなどでも見られるので相当に高いと考えられる。

◎設問11の「生徒は, 元気にあいさつしていると思いますか」について「そう思う」と答えている生徒が58%であるのに対して職員は6%である。これは先生方に対するあいさつだけを評価したものなのか。

△職員に対するあいさつのみを示したものではない。子どもたちはあいさつしているつもりであるが、声が小さかったりと「元気に」あいさつできていない部分もある。また、あいさつができない生徒もまだいることも事実である。

◎今日も来校した折に数名の生徒に会ったが、みんなしっかりとあいさつできていた。子どもたちはきちんとあいさつできているのではないかと思う。

◎「いのちの教室」に参加させてもらった折に生徒たちは大変よくあいさつしてくれた。

◎「いのちの教室」に参加して子どもたちの態度が素晴しくてとても良かった。友達の発言もみんなが肯定的に受け入れる雰囲気で大変良い学校だと感じた。

◎設問12の「生徒は、中学生らしい清潔感のある身だしなみで生活していると思いますか」について「そう思う」と答えている生徒が60%なのに対して職員は9%であるのはどうしてなのか。

△職員が「ややそう思う」と答えている割合は82%であり、全体的に見て大方の生徒たちはできていると評価している。また、中にはしっかりとできてない生徒もおり、その点を踏まえて「ややそう思う」という回答が多くなっていると考える。

◎設問14の「授業参観や学校行事に保護者が参加していると思いますか」について「そう思う」と答えている保護者が6%と少ないが、これは日程的なものなのか。

△フリー参観や奉仕作業は毎学期ごとに土曜日に実施している。学年が上がるにしたがって参加率が下がる傾向にある。今後、呼びかけなどをさらに行っていききたい。

◎参加者の減少は日程よりも内容の問題なのではないか。

◎参加者の減少はどの程度なのか。

△フリー参観は多い時で18%程度である。運動会や合唱コンクールなどの行事では多くの参加を得ている。

◎PTAの奉仕作業に関しては1年生は90名程度の参加があった。50%強である。しかし、3年生に関しては天候も悪く20名程度の参加にとどまった。

◎フリー参観は小学校の時には参加していたが、中学校になって勉強も難しくなると見に行っても良くわからないから親にとってもハードルが高いのではないか。

◎設問に「いじめ」に関する項目がないが現状がどうなのか気になるところである。

△いじめについては他のアンケートを実施し、調査を行っている。また、学期ごとに教育相談週間を設けて早期発見、早期対応に努めている。最近のいじめ傾向としてラインなどのSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の中で行われることが多く表面に現れづらくなっている。「いじめはあるかもしれない」という意識を常にもって慎重に見ていく必要がある。

◎「いじめはあるかもしれない」とのことであるが、アンケートの中に書いてあるのか。

△人間関係のトラブルについて書かれているものもあり、こうしたことがいじめに発展していかないようにより細かく日常生活の中で生徒の変化を見つけ、未然防止に努めていく。

◎生徒の自由記述の中に「どの生徒にも差別せず公平に接してほしかった」とあるが、少数意見と思わずに子ども達の声を大切にしていきたい。

△当然そうしたことがないようにしていく。生徒への「生活アンケート」を実施し、生徒の声を拾い上げ教育相談等を行っている。

◎各項目にマイナスの評価をしている生徒達に目をかけて、進んで声をかけていただければと思う。

△皆様からいただいた貴重なご意見を真摯に受け止め、より良い学校づくりにいかしていきたい。